

# のぼる ししくら登県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 京葉道路の渋滞緩和を迫る!

### 国道357号

# 予定通りの完成を国へ要望



本会議場に登壇し、渋滞問題を訴える宍倉県議

宍倉議員 千葉市内は幹線道路が集中しているため、平日ばかりでなく、休日や観光シーズンにおいても交通渋滞が慢性化しています。特に京葉道路では、穴川や貝塚インターチェンジ付近を先頭に慢性的な渋滞となっており、私の地元にある武石インターでは厳しい渋滞が発生しています。近隣住民からは、排気ガスによる健康面の不安の声も聞かれます。

高速道路会社などで構成する「ワーキンググループ」が設立され、これまでの議論の中で、特に著しい渋滞箇所3カ所が特定されています。高速道路会社は現在、穴川から貝塚インター間の渋滞緩和を図るため、付加車線の設置などを進めています。本年5月までに1・3キロが開通し、残る1・3キロは

平成28年春頃の開通予定となっています。また、他の区間の加減速車線の延伸や本線の抜本対策についても、高速道路会社で検討が進められています。今後は、ワーキンググループでの議論を通じて、京葉道路の渋滞対策が確実に促進されるよう努めてまいります。

### 交差点の連続立体化も

宍倉議員 国道357号についても、千葉市役所前などでは朝夕を中心に著しい渋滞が発生していることから、国が渋滞対策として、千葉西警察署入口から市役所に至る5・6キロで、道路の地下立体化と合わせて、連続した交差点改良などが進められています。国道357号湾岸千葉地区改良の進捗はどうか。

国土整備部長 国道357号では、京葉道路とともに湾岸地域の交通を担う重要な幹線道路であることから、交通が集中し、千葉市内などで激しい渋滞が発生しています。

### 花見川区特集

政令市・千葉市のさらなる活性化に向け、花見川区選出の宍倉登(ししくら)のぼる(県議)は、県議会の中堅議員として県政の中心でますます発言力を増しています。信頼と実行の政治を掲げる宍倉県議は、6月定例会議の一般質問に登壇し、都心と千葉県を結ぶ幹線道路でありながら、千葉市内で続く京葉道路や国道357号の慢性的な渋滞対策を真っ先に取り上げ、県や国に対し渋滞緩和を厳しく求めました。県産農産物の流通問題や幕張新都心で新規分譲が間近かな「若葉住宅地区」の街づくりなど、宍倉県議の主な質疑を特集しました。

### 県議会一般質問に登壇

国土整備部長 京葉道路は、都心と千葉県を結ぶとともに、湾岸地域の交通を担う重要な幹線道路で、ほぼ全線にわたり交通量が1日当たり10万台を超えています。昨年12月には、国・県

このため国では、国道357号湾岸千葉地区改良として、千葉市中央区から千葉

### ししくら登県議プロフィール

#### 経歴

- 昭和24年 千葉市花見川区に生まれる
- 昭和50年 明治大学法学部卒業
- 昭和58年 千葉市議会議員に初当選(3期連続当選)
- 平成7年 県議会議員に初当選(5期連続当選)

#### 現職

- 県議会 農林水産常任委員会委員
- 自民党 千葉市連合支部長
- 千葉市花見川区サッカー協会顧問
- 幕張中学校区青少年育成委員

### ●県政や市政についてあなたの声を聞かせてください!

## ししくら登事務所

〒262-0032 TEL043-271-0606  
千葉市花見川区幕張町3-892 FAX043-271-0605

国へ働きかけてまいります。宍倉議員 京葉道路の交通量を分散化するためにも、計画構想段階になっている第二東京湾岸道路と千葉地区専用道路の早期具体化に向け、県も積極的に努力していただきたい。

# 千葉市のさらなる活性化に向け!

## 県産農作物のさらなる提言

**宍倉議員** 地産地消を進めるためには、県産農作物のおいしさや新鮮さなどの地元産ならではの魅力を生かす消費に伝え、県産農作物のファンとなつていただく必要があるのではないのでしょうか。

**森田知事** 県産農作物のファンづくりを進めるため、多くの県民に、その魅力を十分理解してもらおうことが何より重要と考えています。

そこで県では、量販店や百貨店において、生産者が自ら店頭立ち「産地主体型フェア」を展開するとともに、県内で活躍する野菜ソムリエの皆さんを「ちばの野菜伝道師」及び「協力

隊」に任命し、県産農産物の魅力を分かりやすく伝えていくこととしました。

また、今年度はアクアラインマラソンを活用し、県産農作物の積極的なPRを

### 卸売市場の再編整備

**宍倉議員** 千葉市及び船橋市の中央卸売市場が、地方卸売市場へ転換したが、その理由は何か。また、転換による影響はどうか。

**農林水産部長** 国においては、中央卸売市場の再編整備に当たり、取扱数量が基準に満たない場合、地域の実情に応じた市場運営ができる地方卸売市場への転換を求めるなどの再編基準を示しており、両市場はこ

予定しています。県としては、こうした取り組みを通じて、多くの県民が地域へ愛着を持って、地元の農作物を購入していただけるよう務めてまいります。

両市場では、転換後も引き続き市が運営主体となっており、これを契機に業務の効率化を図るとともに、市民が参加できる市場まわりの開催など、これまで以上に地域に密着した市場づくりの取り組みを進められています。

**宍倉議員** 国の直轄だった中央卸売市場が地方卸売市場になり、県内の市場34カ所すべてが県の許可・指導の範囲になったので、卸売市場のネットワーク化をぜひ県の主導で積極的に取り組んでもらい、地産地消をより実現できるように努力していただきたいと思います。



メモを手に議場の自席から再質問する宍倉県議

## 新都心の若葉地区分譲へ

**宍倉議員** 幕張新都心では、30ヘクタールという最後の大規模分譲エリアである「若葉住宅地区」において、1万人が住む街づくりが進められようとしています。

**幕張新都心事業** 歴史を重ねて多くの関係者の思いを背負った重要なプロジェクトであるという

地区については、幕張新都心の総仕上げプロジェクトとして、新都心にふさわしい街づくりを行うべきと思うがどうか。

**企業庁長** 若葉住宅地区については、文教地区に隣接することなどから、「輝く人と街並みが融合する国際性豊かな街づくり」を基本理念としています。

また、街づくりに当たっては、街の魅力を創出・維持することを目的とした地区管理システムの導入や、快適で環境に優しい建物の誘導など、新たな取り組みを交え、魅力的で質の高い街を目指していきたいと考えています。

## 房総文化憲章の取組み

**宍倉議員** 房総文化憲章は、県の文化施策にどのような生かされ、どう取り組んでいるのか。

**環境生活部長** 房総文化憲章は、文化県ちばづくりの基本的な指針として、昭和60年11月に制定されました。

具体的には、芸術団体の自主的な活動を支援するため、毎年「千葉・県民芸術祭」を開催するほか、県民に対して優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、学校音楽鑑賞教室事業等を実施するなど、さまざまな施策に取り組んでいます。

## 県有施設の老朽化対策

**宍倉議員** 庁舎等のほか、道路や橋梁などの社会基盤施設を含めた県有施設の老朽化対策に、どのように取り組んでいくのか。

**森田知事** 庁舎や学校の含む公共施設の老朽化対策については、厳しい財政状況が続く中、人口減少などにより公共施設等の利用需要が変化していくことを踏まえ、計画的に行うことが重要だと認識しているところです。

募集要項の策定などの準備を進めているところであり、今年度末までに応募された事業計画案を審査のうえ、事業者を決定したいと考えています。

昨年は、国において「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、地方公共団体においても公共施設等の老朽化対策について、総合的な管理計画を策定し、適切な措置を講じていくことが求められています。今後は、国や他団体の動向も踏まえ、施設の点検や診断を実施した上で、統廃合や更新のほか、長寿命化等の老朽化対策を総合的かつ計画的に進めてまいります。

## 京成線の直通増発を

**宍倉議員** 京成千葉線と京成本線との直通列車を、現在の本数より増発すべきと思うが、県の認識はどうか。

**諸橋副知事** 京成電鉄によると、京成千葉線と京成本線の上野方面への直通列車の増発は、京成本線の成田方面の駅を発着する列車の一部を置き換えることになるため、慎重な検討が必要とのこと。

直通路線の増発に向け、両路線の旅客動向を踏まえ検討するよう、機会をとらえて、京成電鉄に働きかけてまいりたいと考えています。

県としては、両路線の直通列車の増発は、千葉方面からの利用者の京成津田沼

活性化させるため、直通路線の増発や快速の設定など、県としても鉄道事業者への働きかけを行っていただくよう要望します。